

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		祭り実施事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本 政誠
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進				所属課	政策課	担当者名	高来 登
	基本事業	42 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保				所属班	政策班	(内線)	1236
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11556	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑤	
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成23年度に合併5周年記念事業として合志市夏祭りを開催し、平成25年度からは開催時期を移し、秋に行うこととしている。イベントは、市民参画・参加・体験による「合志市の祭り」として定着するように実施していくもの。なお、平成26年度からは、民間活力を活用した祭りとするため、一般社団法人クラッシーノこうしに補助し実施している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	1 補助金申請(事業者→市) 2 交付決定(市→事業者) 3 祭りの実施(事業者) 4 実績報告(事業者→市) 5 交付確定(市→事業者)
【主な予算費目】	19. 補助金 事業者(クラッシーノ)
【意見や要望】	合志市事業仕分けにおいて、主催者・時期・予算・実証方法・内容について再検討を行うよう意見があっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
実施事業者(クラッシーノこうし)への補助金支出事務		26年度に同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 実施事業者への補助金交付	円	市制10周年に伴う事業内容の拡充
イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民及び市外からの来場者		→ ア 祭りへの来場者数
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市の祭りとして市内外からの来場者の親睦、融和が図れ樂しめる		→ ア 祭りへの意見・要望数
		イ 入場者数
* ③ 成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市内外からの来場者に喜ばれる祭りとして良い評価が得られるかを指標とした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
投 入 費 用	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		1,932					
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	6,974	7,904	9,197	9,003	15,000	9,000	9,000
	人件費	(A) 事業費計	千円	6,974	9,836	9,197	9,003	15,000	9,000	9,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	27	5	17	5	5	5
投 入 費 用	人件費	延べ業務時間	時間	2,874	2,420	2,300	618	2,300	2,300	2,300
		(B) 人件費計	千円	11,700	9,641	9,163	2,462	9,163	9,163	9,163
	トータルコスト(A)+(B)		千円	18,674	19,477	18,360	11,465	24,163	18,163	18,163

事務事業名	祭り実施事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 今年度は民間活力を活用するため、クラッシーノこうしへ補助事業とし、また、誘客等相乗効果を図るため、ふりかけグランプリと同時開催とした。来場者については、15,000人となった。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成27年度についてもクラッシーノこうしへ補助金交付を行い実施する。また、合志市誕生10周年記念事業として夏祭りで好評であったレーザー花火の実施や、多くの市民が参加できる記念イベントを企画することで、目標を達成する見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 今まで以上に様々な情報提供手段を活用し、市内外からの参加をアピール行うことは勿論のこと、地元団体や関係自治体・企業・大学・NPOなどの協力を得ながら「合志（こうし）市」を発信し、「人と人」、「モノとモノ」を交流させることで、この事業を向上させることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 合志市全体の祭りであるため、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 実施主体が一般社団法人クラッシーノこうしであり、本年度は合志市誕生10周年記念事業として記念イベントを計画しており、今後経費削減を図ることができる可能性ある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため削減の余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした取り組みであるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 クラッシーノこうしが実施主体であり、役割分担は適切である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

熊本県農業公園カントリーパークにて開催された「2014 こうし市秋祭り～史上最強の遊園地～」を開催。フィールドでは、超特大のふあふあ遊具やプロスポーツ選手とふれあえるわんぱくパークや合志の美味しいものを一同に集めた飲食ブース「こうしバル」、弁天様行列。ステージイベントではドラえもんショーや大声大会（子どもの部、大人の部）、弁太太鼓、合志市音頭、マジックショーやパントマイムなど様々なイベントで会場を盛り上げてくれました。天候にも恵まれ、約15,000人が訪れ、たくさんの親子連れで賑わった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							